

われら サークル仲間

スイングハーツ

No.15

ビッグバンドの生の迫力を—— 私たちの「スイングハーツ」は、今年十五周年を迎え、七月二十一日に八年ぶりに単独でコンサートを開きました。練習では思うような音が出ず心配しましたが、当日はメンバーの息もピッタリ合い最高の演奏ができ、そして聴衆の皆さんから盛大な拍手をいただき感激しました。



▲今年の15周年記念コンサート(文化会館)

です。レパートリーは、演歌ありジャズあり、フュージョンありとどんな曲でもこなします。これからは、トロンボーンやサクソホンなどをもっと増やしてフルバンドを作り、オリジナル曲を演奏してみたいと思います。私たちがいつしよにスイングする方を募集しています。吉田昇まで連絡ください。

- ◆譲ります
- ロングオーパー、編機、大絵皿、加湿器、土鍋、足踏みミシン、冷蔵庫、重箱、ポータブルミシン、瞬間湯沸器、スキー靴、健康マツト、歩行機、ステレオ、ラジカセ、電気オルガン、ガステーブル、ガスオーブン、木製机ほか
- ◆譲ってください
- 中振袖、小紋、ステンコート、ヘルメット、柔道着、ママコート、子供服、子供用机、二段ベット、アルミサッシ、事務机、洋服ダンス、長イス、除湿器、電子レンジ、衣類乾燥機、ポータブルミシン、石油ストーブ、ガステーブル、テニスマット、ファミリーコンピュータ、乳母車、自転車、ベビーカー、オルガンほか

問合せ・婦人会館 ☎49-7028

ちびっこギャラリー

白沢幼稚園

▶おかあさん



かぶともりさとこちゃん



◀おとうさん



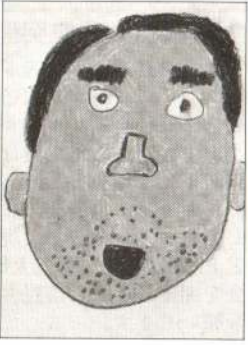
くどうしゅういちちゃん



▶おとうさん



はなおかことおちゃん



市民と市政の パイプ役

広報おおだてが400号に

広報おおだては、市民と市政を結ぶパイプ役として昭和二十六年八月二十日に創刊以来、今号で四百号を迎えました。これからも紙面を通して住みよい大館市をつくるため皆さんと共に考え、共に歩む広報を心がけていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。なお広報発行四百号に当たり、市民の皆さんからご意見をいただきましたのでご紹介し、これからの紙面づくりを生かしていきたいと思っております。

市民参加の紙面を

北鹿新聞編集局長
加賀谷 勝さん

広報は、言うまでもなく行政と住民をつなぐメディアとして欠かせないものである。その性格上、どうしても「お知らせ」調になるのはやむを得ないが、やはり読んでもらわないことにはどうにもならない。すぐクズかごに捨てられるのではわびしい。長く手元に保存され、活用されることを望ましい。そのためには市民参加の紙面をつくるべきだ。ひとつだけ注文すれば、広報のスペースは、原価的にも貴重だから、「市民の声」欄を充実して欲しい。

「市民の声」欄の拡張を

匿名希望

広報に「市民の声」の欄があるが、市民と行政を結ぶ主体的な方法として結構なことである。9月1日号では「混雑する歩道での自転車通行」についての投書があったが、こうした問題を提起された方には敬意を表したい。また「市民の声」は、毎号に掲載するほか、月ごとに件数や内容を集約して紹介し、その中から特に注目すべきものについては関係者から説明をつけて掲載するようにしてほしい。限られたスペースの中で工夫をして「市民の声」の欄の拡張をぜひ求めたい。

市民の参加も必要

常盤木町

黒木玲 子さん

転勤で大館に来て一年半、もうすっかりこの地に溶け込みました。広報が配布されるとまずサッと目を通し、後でコピーなどですすりながらゆったり気分て読み直します。毎回たのしみなのが「市長